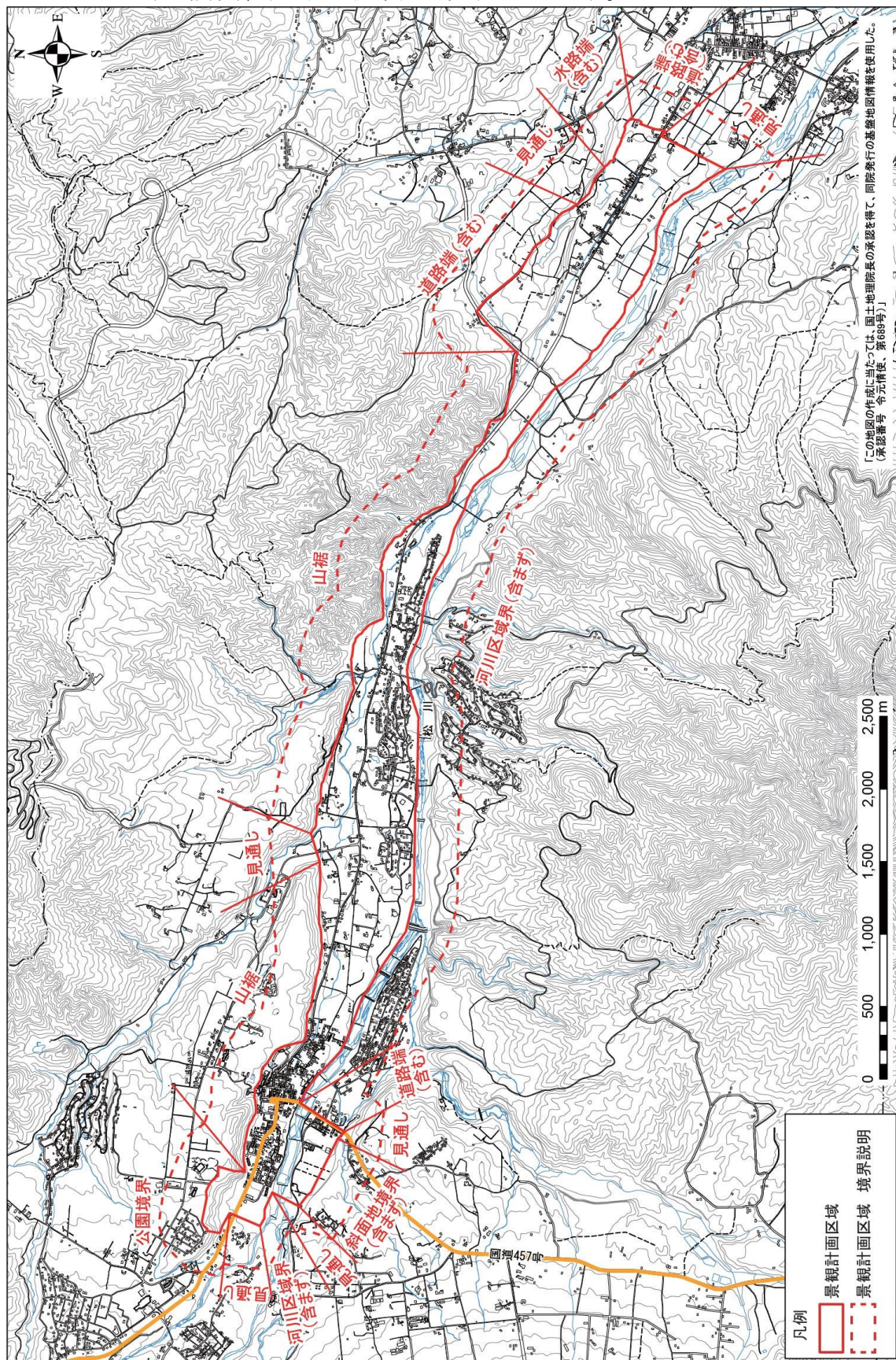


7 遠刈田温泉・農村集落地区

(1) 景観計画区域

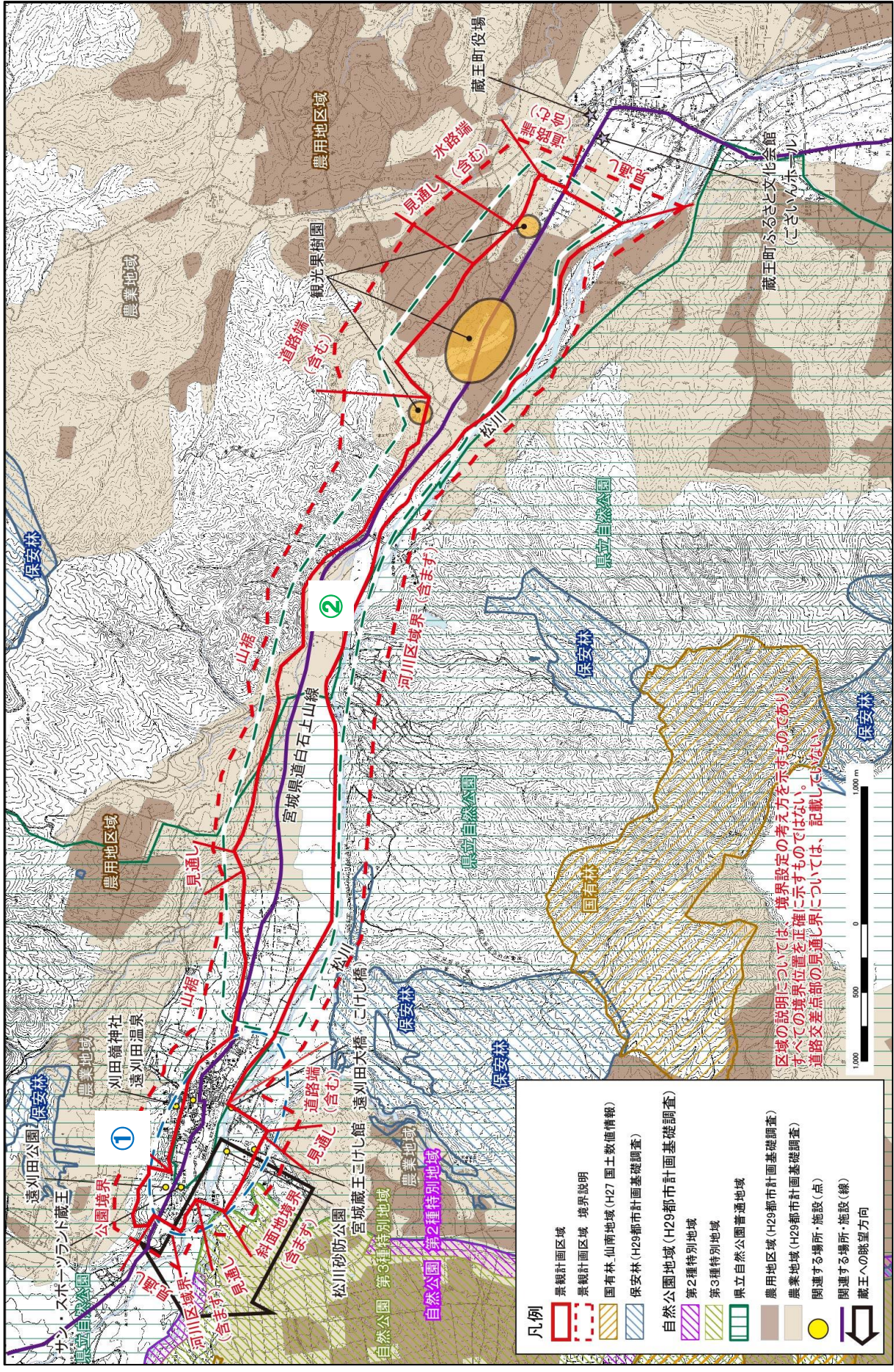
遠刈田温泉・農村集落地区の区域図を以下に示します。



【区域の考え方】

遠刈田温泉・農村集落地区の区域は、以下の考え方を踏まえて設定しました。

当該区域を指定する目的
<ul style="list-style-type: none">・蔵王観光の拠点となる遠刈田温泉地区における歴史と賑わい、県立自然公園の環境が調和した景観形成を図るとともに、蔵王観光への往来を支えるネットワークを担う県道白石上山線沿いにおいて、景観形成を通して、周囲の自然や蔵王町の地域産業である果樹園等に代表される農村景観と調和した沿道利用の誘導を図ることを目的とする。・観光業と農業等の一次産業が調和した蔵王町らしい景観まちづくりに向け、官民が協力・連携した取組へのきっかけにつなげるとともに、蔵王町の中心部から蔵王観光の拠点地区である遠刈田温泉にかけて、個性を高める景観の形成を図ることを目的に、景観計画区域を指定する。
地区内で見られる景観（景観の概況）
<p>■仙南地域らしさを象徴する景観</p> <ul style="list-style-type: none">・蔵王連峰を源流として流れる松川沿いの段丘地では、果樹栽培が行われており、蔵王町から遠刈田温泉に続く県道沿いにおいて、果樹園と集落が連続する特徴ある農村景観を形成している。・遠刈田温泉の集落では、蔵王詣での拠点として栄えた町場と、旅館や温浴施設が一体となった、蔵王山麓における賑わいある町場の景観が形成されている。中心部に住宅や飲食店、土産屋などがあり、中心に公共浴場「神の湯」がある。神の湯背後には、刈田嶺神社（里宮）が鎮座する。・温泉地を抜けると松川にかかる「こけし橋」が見え、川の流れに沿って開けた先に蔵王連峰を望むことができる。 <p>■地区固有の景観</p> <ul style="list-style-type: none">・県道白石上山線沿道は、果物の直売所やドライブインなどがあり、その背後に山地が迫る山間部のやや狭い谷地の景観が見られる。・地区の東側では平地がやや広がり、水田や畑、住宅が見られる。川側では防風林を兼ねた高木のスギ林も点在する。・遠刈田温泉街では、通りの街並みに加え、冬場は温泉の排水によって側溝から湯気が立ち上り、特徴的な景観をつくり出している。
区域設定の考え方
<p>■基本的な考え方</p> <p>遠刈田温泉としてまとまりある市街地を形成している地区を中心に、歴史ある温泉街としての風情と蔵王観光の拠点にふさわしい賑わいが調和した景観形成を図るとともに、蔵王町の中心部からそこに至る幹線道路沿いの連続した景観の保全・形成を目指した区域を設定する。</p> <p>■個別の考え方（丸数字は、次ページの図中の丸数字に対応）</p> <p>①遠刈田温泉周辺地区</p> <p>温泉施設や店舗等の市街地が形成されているエリアを対象に、まとまりのある市街地景観の形成を図るため、区域に含めた。</p> <p>②宮城県道白石上山線沿道の集落</p> <p>沿道の宅地利用において、周囲の自然や蔵王町らしさを醸し出す果樹園等による特徴ある農村景観と調和した整備を求めることができるよう区域を設定し、観光業と農業という地域の営みが共存する蔵王町らしさを生み出す景観まちづくりへの取組を図るため、区域に含めた。</p>



- 凡例**
- 景観計画区域
 - 景観計画区域 境界説明
 - 国有林・仙南地域(H27 国土数値情報)
 - 保安林(H28都市計画基礎調査)
 - 自然公園地域(H29都市計画基礎調査)
 - 第2種特別地域
 - 第3種特別地域
 - 県立自然公園普通地域
 - 農用地区域(H28都市計画基礎調査)
 - 農業地域(H28都市計画基礎調査)
 - 関連する場所・施設(点)
 - 関連する場所・施設(線)
 - 蔵王への眺望方向

区域の説明については、境界設定の考え方を示すものであり、すべての境界位置を正確に示すものではない。道路交差点部の見通し界については、記載していない。

▲ 区域設定検討図

(2) 景観形成方針

遠刈田温泉・農村集落地区における景観形成方針を以下に示します。

■ 自然景観の保全

- ・遠刈田温泉で見られる松川の環境を保全するとともに、水と河畔林等が作り出す潤いある水辺景観の保全を図る。

■ 農の営み等とともにある景観の継承

- ・県道沿いでは、蔵王町らしさを醸し出す果樹園等からなる特徴ある農の営みが作り出す景観を継承する。
- ・温泉街では、温泉施設や旅館、店舗等を中心に、温泉地の景観資源を活かしたもてなしと賑わいを感じさせる市街地景観の形成を図る。

■ 個性を活かす景観の創出

- ・遠方にそびえる蔵王連峰への眺望と調和した景観形成を図る。
- ・蔵王観光へのアクセスルートである県道沿いでは、訪れる人にもてなしを感じさせつつ、周囲の自然、田園と調和した落ち着いた沿道景観の形成を図る。

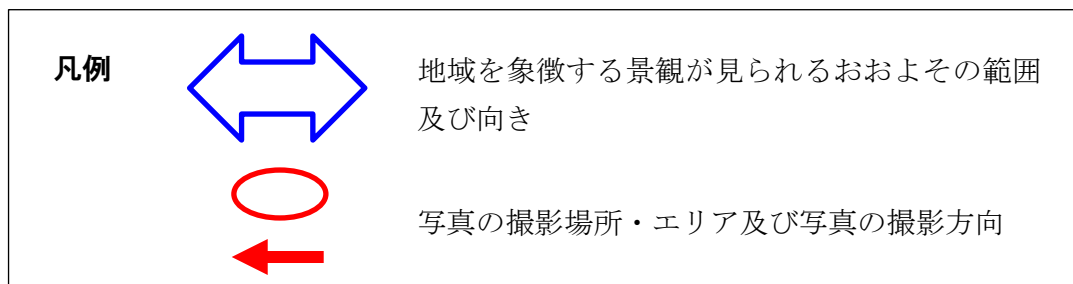
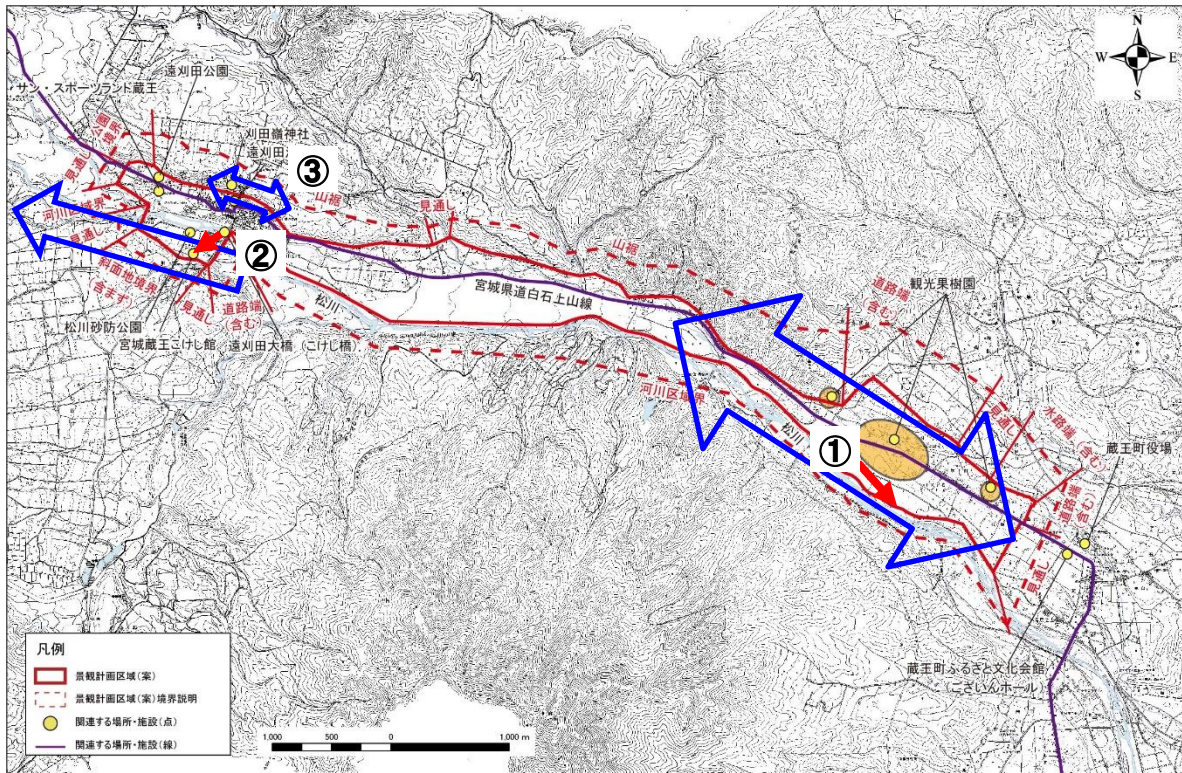
(3) 景観形成基準

遠刈田温泉・農村集落地区における景観形成基準を以下に示します。

▼景観形成基準

行為	項目	景観形成基準 ※■:地域の特徴を踏まえた基準
建築物 ・工作物	配置・位置	<ul style="list-style-type: none"> ■ 温泉街では、周囲との連続性に配慮した配置とする。 □ その他のエリアでは、周囲の環境に配慮したゆとりある配置とする。 □ 大規模な施設となる場合には、オープンスペースを有効に配置し、潤いある市街地景観の形成に努める。
	高さ	<ul style="list-style-type: none"> □ 周囲の山並みを阻害せず、周囲と調和した高さとする。
	形態 ・意匠	<ul style="list-style-type: none"> ■ 温泉街の通り沿いでは、通りに面して低層部に開口部を設ける等により、遮へい性を低減し、歩行者からの見え方に配慮した賑わいを創出する景観の形成を図る。 ■ 松川の水辺では、水辺を活かし周囲の自然と調和した形態・意匠となるよう配慮する。 ■ その他のエリアでは、周囲の里山や果樹園・田園集落と調和した形態・意匠となるよう配慮する。 □ 大規模な建築物等では、長大な壁面を避け、周囲に与える圧迫感を軽減に努めた形態・意匠となるよう配慮する。
	色彩 ・素材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 温泉街では、既存の建造物等と調和するよう、外壁や屋根における素材や色彩に配慮する。 □ その他のエリアでは、既存の集落で多く見られる建造物と調和するよう、外壁や屋根における素材や色彩となるよう配慮する。 □ 外壁の基調となる色彩は、高彩度の色は避け、色彩を組み合わせる場合には、全体としてのトーンを合わせた統一感のある配色とする。 □ 屋根の色彩は、建物との調和に配慮し、周囲から突出しないものとする。
	設備類	<ul style="list-style-type: none"> □ 屋上設備、屋外設備は、建築物との一体化や道路等の公共空間から見えない位置に配置する。やむを得ない場合には、通りからの見通しに対する遮へい等を行い、周囲の景観に影響を与えないよう配慮する。
	外構 ・緑化 等	<ul style="list-style-type: none"> □ 地域の植生に配慮した緑化に努める。 □ 駐車場を設ける場合には、出入口を最小限に整理し、道路境界部や敷地内における植樹等、周囲に閑散とした印象とならないよう配慮する。
開発行為・土地の形質の変更・木竹の植栽伐採	周辺への配慮	<ul style="list-style-type: none"> □ 周囲の自然環境、植生等に配慮する。
	造成等	<ul style="list-style-type: none"> □ 既存の地形を活かした造成に努め、切土・盛土は最小限とする。 □ 法面や擁壁等を設ける場合には、周囲の環境との調和に配慮した素材や工法とする。
	既存樹木・樹林等の保全	<ul style="list-style-type: none"> □ 集落内や通り沿い等で地域の景観を印象づける高木等の既存樹木は、可能な限り保全するよう努める。 □ 植樹をする際は、周囲の自然植生に配慮した樹種の選択に努める。 □ 伐採後は、自然の植生の再生に向けた措置を行うよう努める。

(参考) 区域で見られる景観 (丸数字は、次ページの表中の丸数字に対応)



区域で見られる景観	説明
 <p data-bbox="193 568 555 600">①沿道の果樹園（図内赤矢印）</p>	<p data-bbox="716 244 1007 275">●沿道に広がる果樹園</p> <p data-bbox="716 293 1406 566">蔵王町の町場から遠刈田温泉街に向かう県道白石上山線沿いは、扇状地の中腹部で果樹園が多く、季節によって花や果実が実る風景が見られる。これらの果樹と周囲の農地や家屋、背景の里山とともに、蔵王町の地形と特産物を象徴する特徴的な農村景観を形成している。</p>
 <p data-bbox="193 954 663 985">②遠刈田大橋と蔵王連峰（図内赤矢印）</p>	<p data-bbox="716 629 1150 660">●遠刈田大橋と蔵王連峰への眺め</p> <p data-bbox="716 678 1406 952">遠刈田温泉街を抜け遠刈田大橋まで来ると、河川沿いに空間が開け、遠くに蔵王連峰の山容を望むことができる。遠刈田大橋には橋のたもとに遠刈田温泉の工芸品であるこけしが設置され「こけし橋」とも呼ばれており、遠景に見える蔵王連峰とともに遠刈田温泉を象徴する景観が見られる。</p>
 <p data-bbox="193 1328 384 1359">③遠刈田温泉街</p>	<p data-bbox="716 1032 927 1064">●遠刈田温泉街</p> <p data-bbox="716 1081 1406 1305">かつて蔵王詣での拠点として栄えた町場に大小の温泉宿や商店、土産屋が並び、観光地としての賑わいの景観が見られる。温泉街内は低層の建築物を中心とした街並みが形成され、周囲は山林に囲まれており、一体的な町場景観が形成されている。</p>

